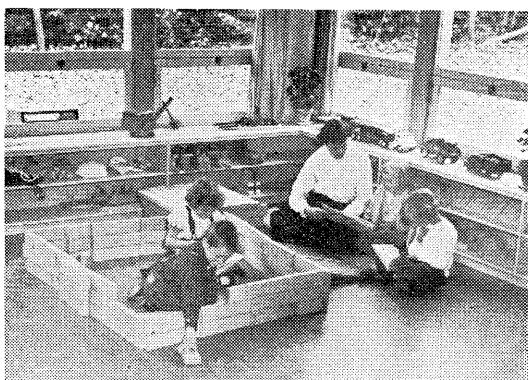


これは米国マサチューセッツ州のマウント・ホリヨーク大学付属幼稚園の写真です。私は、この幼稚園の園長をしています。私が日本に来たので、先月、学部長が送ってくれたものです。

この幼稚園は、一九五二年に新築した園舎で、木造平家建、保育室は、二室あります。これは大学付属の幼稚園ですから、保育室のほかに、観察室、実験室、テスト室、相談室があつて、児童研究のために使用されます。調理室がつて、おやつが出せるようになっています。コンクリート造りよりも、木造の方が安いので、木造にしました。

下の写真は五才児の保育室です。この積木は、一番ふつうに使用されている形の積木です。これも、市販のを買うと非常に高価なので、大学の大工さんによつて削ってもらいました。この子どもは、いま家をつくつてゐるところですが、積木で家をつくるよりも、日本の子どもと大分違いますね。アメリカでは家をつくるときには、ブロックや煉瓦をこのように積み重ねて、最後に屋根をのせるのです。

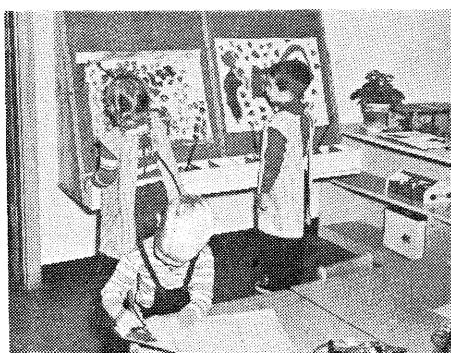




上の写真は、子どもたちがへやの中で、思いに遊んでいるところです。一つのへやの中でも、いくつもの活動ができるようになると考えています。

下右の写真では、子どもたちがピアノのまわりに集まって、歌を歌いながら、楽器を使っています。できるだけ自然な形で、音楽を楽しむようにと心がけています。

下左は絵を描いているところです。

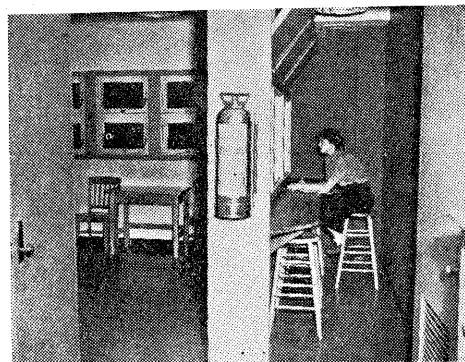
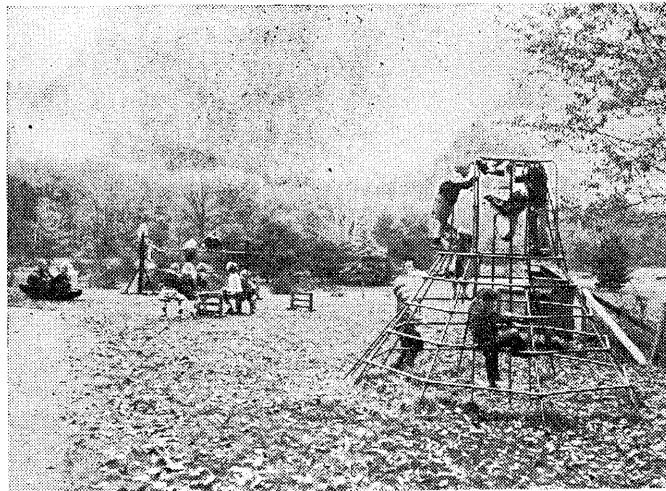


左上の写真は、戸外の遊びです。遊具を使って楽しく遊んでいるところを見て下さい。幼児は日本でもアメリカでも同じです。日本の幼稚園に半年来て、明るく幸福そうな日本の子どもたちを見て、私はたいへんたのしくなりました。子どもを大切にする国は、繁栄する社会だと思います。

×

左は、観察室の内部です。観察室は、特殊なガラスが使ってあって、もちろん向こう側からは見えません。研究用に使用します。

×



右は、おひるねの時間です。みんな勝手な姿勢をして、休息します。

×
×
×

